

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和4年12月28日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		1月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本 (前年比)	千本 (前年比)					
バラ	茨城県	施設	サムライ アマダ アバランチェ 等	周年	1.5 (100%)	-	-	30	30	40	古河市 石岡市 茨城町 等	生育は11月の気温高で若干前進傾向。また、前月の出荷が多かったことから、 今後は一部出荷減が見込まれる。 一部、スリップスや灰色かび病の発生が見られるが、大きな影響は特になし。
	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	10.2 (96%)	500 (98%)	330 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	作付面積は横ばいで平年並みの出荷を見込む。
	静岡県	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (100%)	580 (94%)	450 (94%)	15	40	45	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	加温経費高騰から最低限の加温に抑える方もいるため、花芽の立ち具合は緩 やかになる見込み。品質は良くなるが出荷量は少な目で安定する見込み。
ストック	秋田県		雪波 朝波 カルテット系	10月~2月 (11月)	1.1 (97%)	252 (104%)	189 (104%)	45	35	20	こまち うご	寒さの影響から生育は遅れているものの、11月上旬から出荷開始している為、 ほとんどの生産者が切り上がった。昨年と比べると、雪の量が多く除雪作業に 時間がとられており出荷にも影響している。
	千葉県	施設	アイアンシリーズ カルテットシリーズ	11~4月 (2~3月)	38 (100%)	2,280 (100%)	1,340 (100%)	10	40	50	館山市 鴨川市	病害虫の被害なく、順調に生育しており、年末にかけて出荷量が増える見込 み。

花きの市場別販売概況(1月見通し)

令和4年12月28日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状		コロナ禍でも自粛緩和によるブライダル需要は昨年程ないが、引き合いの強い赤SPは昨年並み、赤STは昨年より高く推移。重油や電気代高騰の為、低い温度で対応されていること、また11月が温暖だった影響で前進傾向にあり、数量は少ない。輸入も数量抑制が図られた(大田)。山形、栃木、群馬、神奈川、静岡等。クリスマス需要で赤系中心に強い引き合いも他の色は保合相場(FAJ)。赤、白中心に強い。秋口の天候不順により、入荷は少なめ(世田谷花き)。
	見通し	大田花き	12月の入荷数量が少なかった分、1月下旬に増える見込み。輸入品は、引き続き不安定で少ない見通し。
		FAJ	山形、栃木、群馬、静岡、愛知等。高冷地が減少し落ち着いた入荷に。小売り需要弱く業務中心の取引
		世田谷花き	入荷は前半だけ例年より少し多い見込み。その後は少ない。単価は堅調。
アルストロメリア	現状		気温低下により、数量はやや減少となるが、引き合いも落ち着いて、厳しい販売状況であった。下旬に向かって相場は回復したが、数量は昨年よりも少ない入荷が続いた(大田)。26日入荷ピーク。入荷量減で昨年の8割程度後半は強保合相場での取引に(FAJ)。低温と天候不順でやや減少。下旬に向けて、引き合い強まる為、そこに向けて増やす計画(世田谷花き)。
	見通し	大田花き	低温もあり、愛知、長野中心の入荷となる。東北、北海道は、非常に少ない状況。色味は、白・ピンク・黄色中心となる。
		FAJ	長野、山形中心の入荷。引き続き入荷量やや少ない見込み。小売り堅調も需要は葬儀次第
		世田谷花き	やや減るが、一定量入荷で横ばい。各業態から引き合い。
ストック	現状		月初めは天候の影響で出荷量が多くなったが、その後は落ち着いた数量で推移。販売面では年末に向け需要が高まる(大田)。山形中心に千葉、福島より入荷 昨対比1割増で11月の高値から落ち着き保合相場となった(FAJ)。山形・福島・千葉県などからの入荷。上旬までは、ほぼ計画通りであったが、寒波の影響で咲き足が鈍ってきた(世田谷花き)。
	見通し	大田花き	各産地、気温が下がり開花が鈍くなり、出回り数量が少ない状況が続く。引き合いも弱い状況が続く。
		FAJ	山形から千葉中心へ、ほか福島、和歌山等より入荷予定 年末の天候によっては減少で不足の可能性
		世田谷花き	東北産が残るなか、千葉県産中心の入荷。